

多賀城キャンパス図書館

地震発生（気象庁発表内容）

発生日時：2011/3/11（金）14:46

地震名称：平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震発生

震源地：太平洋三陸沖（牡鹿半島の東南東約 130km 付近）の深さ約 24km（暫定値）

マグニチュード：9.0（暫定値）

西北西-東南東方向に圧力軸をもつ逆断層型（CMT 解）、太平洋プレートと北米プレート境界域における海溝型地震

震度：最大震度 7：栗原市築館

6 強：塩竈市旭町、仙台宮城野区苦竹など

6 弱：富谷町富谷、仙台泉区将監、仙台若林区遠見塚、仙台宮城野区五輪、仙台青葉区落合、仙台青葉区作並、仙台青葉区大倉など

5 弱：多賀城市中央

地震発生後の対応

- 1 発生直後、出口確保のため、玄関ドアを開放した。
- 2 発生直後揺れが大きいと判断したので、館内利用者に対し、館内放送にて書架から離れ身の安全を確保するよう注意連絡・安全誘導のアナウンスをした。
- 3 最も強い揺れが少しおさまった時点で、揺れている最中ではあったが 1 階 2 階に分かれて館内をまわり、利用者の安全確認を行い、避難場所へ避難するよう誘導した。
1 階には A V ブース 1 名、閲覧席に数名の利用者がいた。
2 階には西側閲覧机下に 1 名、北側に 1 名の利用者がいた。
ダムウェータは使用していなかった。
A V ブース利用学生の学生証は返却した。利用者の荷物私物等は館内には残っていない。
- 4 利用者を全員館外へ誘導した後、職員スタッフの安全を確認し、避難場所（グラウンド）へ向かった。しかし、国道 45 号線まで津波が来ていて書店が浸水しているとの情報が入り、少しでも高台になっている図書館前が避難場所に指定され、学生・教職員・幼稚園児が避難した。
- 5 余震の揺れに充分注意しながら、図書館内のひざ掛け 15 枚すべてを館内から持ち出し、園児や薄着の方々に提供した。
また、充電式ラジオ・メガホン・懐中電灯・カメラ等を持ち出し、ラジオにて地震と津波に関する情報を流した。
- 6 火災発生防止のためブレーカーを下ろすよう避難所で指示があったが、下ろす箇所の判断がつかなかったため下ろすことはしなかった。その旨を管財係で報告しなかったことは反省点である。
- 7 とりあえず、図書館玄関ドアに「休館」の掲示を貼った。
- 8 委託スタッフは 3/12 は勤務をしないこととし、随時統括に状況を連絡することとした。

経過

○3/23（水）15:00 災害対策本部による建物安全確認発表により、3 館とも、3/24 からの教職員の立ち入りが許可された。

教職員は 3/24（木）より入館可。

学生の入構は 3/28（月）より制限解除。

○3/25（金）中央図書館にてミーティング（館長・課長・中央図書館職員・委託統括）

図書館は当分の間、休館とする。

3/28（月）から復旧作業に入る。

委託スタッフは 3/28（月）から通勤可能なキャンパスに勤務する。

被害状況：別紙

復旧作業：別紙